

常盤小（沖中直樹校長、44人）は、旧西岐波地区と旧恩田地区の一部が合併した1978年の4月に開校した。校章は、モクレン科のトキワレンゲがモチーフになっている。79年2月に制定した校歌には、校訓「美しく」「たくましく」「かしこく」がちりばめられており、美しい心を持ち、古里から愛されるときわつ子を、この歌と共に育成していきたいという思いが込められている。

創刊110周年記念

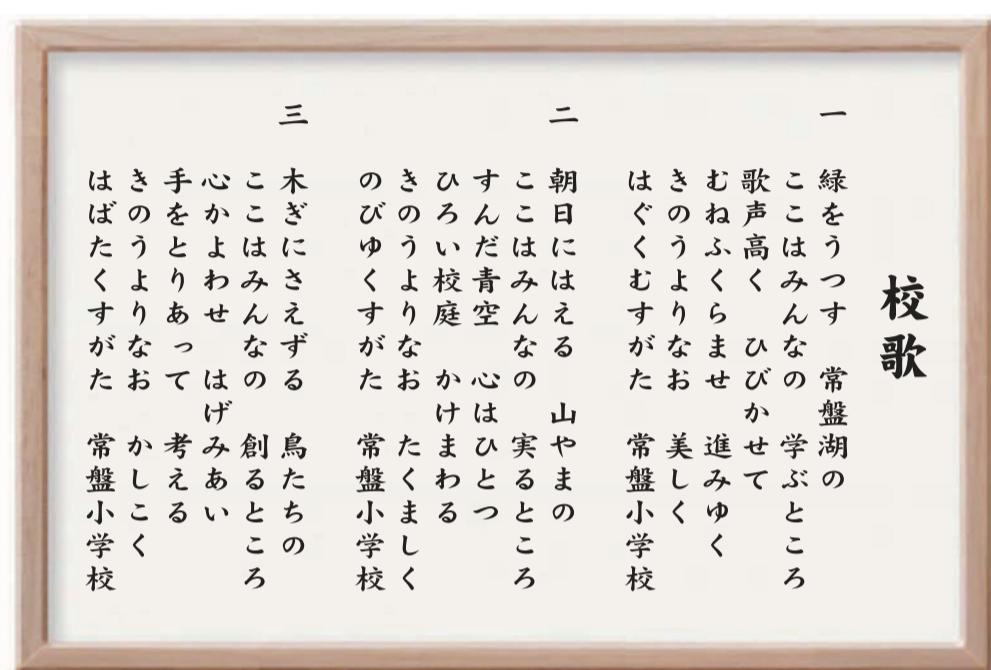
誇れるふるさと

24地区リレー

さと
〈vol.17〉

〈常盤③ 小学校歌〉

児童の成長「きのうよりなお」



A large, dark, irregularly shaped rock serves as a base for a rectangular plaque. The plaque is inscribed with Japanese characters in a stylized font. On the left side of the plaque, there is smaller, less prominent text. The entire setup is surrounded by green foliage and trees.

校舎前に設置された校訓碑 (當盤小で)

番は「木ぎにさえずる鳥たちの」と歌い出している通り、校舎の近くや教室から見える風景を切り取っている。

校訓は、各番にそれぞれ入っている。その前に、いすれも「きのうよりなお」の楽句が使われている。繰り返し表れるこの言葉には、子どもの成長や前進への願いが込められているのだろ

う。

また、「こ」はみんなの後には、各番で「学ぶところ」「実るところ」「創るところ」と続けて「創るところ」と続いているのも印象的だ。6年間で学んでほしい」と、それらを学べる学校をつくりていきたいという、当時の教員たちの思いがうかがえる。

沖中校長は「今の時代に求められる自己表現力を音楽を通して育めたぶら」と話す。現在、月、水、金曜の授業前に校内放送で校歌を流している。コロナ禍で斎唱する機会が少なくなっているからこそ、この伝統を続け、校歌に親しむ環境を

番は「木ぎにさえずる鳥たちの」と歌い出している通り、校舎の近くや教室から見える風景を切り取っている。

校訓は、各番にそれぞれ入っている。その前に、いすれも「きのうよりなお」の楽句が使われている。繰り返し表れるこの言葉には、子どもの成長や前進への願いが込められているのだろ

う。

また、「こ」はみんなの後には、各番で「学ぶところ」「実るところ」「創るところ」と続けて「創るところ」と続いているのも印象的だ。6年間で学んでほしい」と、それらを学べる学校をつくりていきたいという、当時の教員たちの思いがうかがえる。

沖中校長は「今の時代に求められる自己表現力を音楽を通して育めたぶら」と話す。現在、月、水、金曜の授業前に校内放送で校歌を流している。コロナ禍で斎唱する機会が少なくなっているからこそ、この伝統を続け、校歌に親しむ環境を